

なきごえ



1972

12

大阪市
天王寺動物園協会

47年をふりかえって (座談会)

出席者：園長他飼育係全員

松岡：今日の飼育会議は、例年のように「47年を振り返った飼育係の雑談会」として、なきごえの12月号に編集したいと思います。園長も程なく来ると云うことですので、時間の関係もありますのでそろそろ始めさせていただきます。

①ベビーブームの裏ばなし

全体の内容を4つに分けて見ました。第1の項目は、ベビーブームの裏話となっています。何といっても、今年のトップバッターはサイの誕生です。予定日ではないのに、急に乳房が腫れだして、あわてた一幕もあったようです。この辺から一つ。

池内：神戸動物園に次いで、日本の動物園での出産は2番目というので、張り切りしました。始産期間は、540日となっていますが、最終交尾から計算すると、5月頃になるのですが、3ヶ月も早く、厳寒の2月1日に生れたのには驚きました。ちょうど早朝の掃除に行ったとき、様子が変わっているのでよく見ると、それが陣痛で、簡単に生まれました。子供は産後40分で起き上って、すぐ乳房を深しはじめました。



(サイ)

親は初産の割合にはよく落ちついていて、子供が接近すると、後肢を後に挙げて、さも呼び込むような動作をして、乳を飲ませました。

林：乳房はいつ頃から腫れだしましたか？
池内：お産の10日前から、大きくなるのが目立ちました。
林：餌を早く食べ出したようですが？
池内：生後35日目頃から、親の餌に興味を持つようになりましたが、完全に噛んで食べると云うものではありません。
松岡：寒い季節でもあり、運動場に出すのが問題でしたか？
池内：約2ヶ月目に、暖かい日を選んで、オスを収容しておいて、親子だけをそっと出してやりました。子供は親の廻りにつきっきりで、母親がゆっくり歩いて誘導していました。

松岡：ラクダがその次に生れたのですが、虚弱児で立ち上がれず、親の乳が全々飲めないで、当初から担当者も大変苦労されたようですが、その辺をどうぞ。
野口：虚弱児の割には順調に育ちましたが、一番困ったのは、下痢が1ヶ月も続いたことです。

松岡：あれにはいろいろやりましたが、中々止まらず困りました。最後にやった乳酸菌が、かなり効果があったようですが？

野口：大変有効であったように思います。

松岡：動物が大型なので、飲む量が多いので、その方でも苦労されたでしょう。一番始めて飲んだ量は？

野口：1回180cc、1日6回与えました。大体の日量は、1040cc位です。

松岡：哺乳の最高量は？

野口：1日13ℓです。

松岡：13ℓと云うと、1升瓶で8本と云うことになりま。乳造りだけでも大変な仕事ですね。虚弱児が生まれると、皆様方も大変です。次に、バクに移ります。前回の出産では、子供をよせつけなかったようですが、今回はすんなり行ったようですね。

米田：前回は初産のため、親が興奮して、哺乳を嫌いましたので、人工に切り替えたのですが、こんどは順調です。

松岡：初産のときはいろいろのことがありますね。バクの子供の縞が消えるのはいつ頃ですか？

池内：生後6ヶ月位で消えます。

松岡：ライオンはどんどん生れています、やはり中には親が育てないのがいるようですね。

米田：ライオンの人工哺乳については、御苦労の積み重ねで自信まんまんですね！



(ライオン)

なきごえ12月号もくじ

47年をふりかえって (飼育係座談会) 2・3・4・5・6
11月の動物園日記 6
動物園ニュース 7

鈴木：日中はそうもないのですが、朝と夜が大変ですよ！
松岡：それはよく分かります。しかしライオンをやってみようことによって、現在生まれている黒ヒョウの哺育にも、大変役立っています。

正木：ライオンは、保育箱の温度を25℃に保ち、1日5回位哺乳します。初めは、1日の全量は200ccですが、1ヶ月すると500cc位飲みます。これ以上のものは大体育ちます。ヒーターも昼はなるだけ切って、夜だけ入れてやる方がよいようです。

松岡：肉を食べ始めるのは？

正木：生後50日位から肉を食べはじめます。

松岡：さて、今年のシュバシコウの人工飼育の方は失敗しましたが、いろいろ新しい試みをやって、苦労をしておられたようですが？

丸本：シュバシコウの育雛能力は、1巣2〜3羽が限度ですので、これ以上ふ化したものは、人工的に育雛すべきだと思います。今年は新しい試みとして、グンカンドリに与えた餌を、40分位して吐き出させたものを雛に与え、13日間は調子が良かったのですが、その後、ドジョウとアジに切り替えてから、17日目で死んでしまいました。

松岡：吐き出させるのは、サギは駄目ですか？

丸本：サギも試みましたが、食べる量が少いので、吐き出させるのがむずかしい。

松岡：シュバシコウは、日本の全動物園のトップを切って、繁殖に成功した自慢の動物なので、いろいろ研究して、よい育雛方法を考えて下さい。次に、フラミンゴに移りたいと思います。

米田：昨年続いて、今年もふ化したのですが、今年は初めて育すうに成功しました。その苦労話を担当者からどうぞ。

鈴木：まあ一番苦労したのは、猫退治ですね！

松岡：昨年順調だったのが、1晩でやられたのだから、担当者としては無理ないね。

米田：嘴が曲って来るのは何日頃からですか？

鈴木：ふ化後20日目から、少しづつ曲りはじめます。

園長出席

米田：自分で餌を食べ始めるときなど、一般の様子を。

鈴木：29〜30日目でふ化します。ふ化後、17日位に何やら食べる動作をしました。産卵前の巣はおそまつですが、



(フラミンゴ)

親は抱卵中に嘴で泥土を、巣の塔の上手に塗って、立派に仕上げをしています。

米田：それでは次に、これも始めてのレアの産卵について。

三浦：第1卵から2卵は7日目、それから10日に3卵を生みました。初卵、黄、次卵、青、3卵は薄青と、それぞれ色が異なっていました。

米田：レアの場合、おすのみが抱卵するのですが、おすにその気配が見られましたか？

三浦：朝、掃除に行くと、生んでいると云う状態で、どれが産卵したのか分からないのです。今後十分に観察します。卵はふ卵器に入れましたが、全部無精卵でした。

米田：8月24日に、待望のかぼときりんが生まれています。今回のカバの状況はどうですか？

山田：前の子供より、大変憶病のようですが、発育の方



(カバ)

は、逆によいようです。又、母親は前の子供に対しては、全く愛情を示さなくなった。かばのお産のときは、特に静かに興奮しないようにしてやるのが、必要なようです。

米田：これから寒くなってゆきます。管理に十分気を付けてやって下さい。次に、きりんをお願いします。

泰松：今のところ、9月に生まれたのと2頭とも、順調に育っています。きりんの子供は、今迄流産を除いて5頭手掛けしましたが、きりんの子供は、生後6ヶ月位から、餌を食べるのがよいようです。早く食べるのは良くありません。早く餌を食べると云うことは、母乳不足を意味するようです。又、再々流産がありましたが、その原因については分かりませんが、私の観察では、冬期の交尾と関係があるように思います。

松岡：そうすると、放線菌症で死んだりリリーの場合はどうでしたか？

泰松：リリーは第3回目の子供で、2ヶ月目位から食べ

表紙の写真説明

“アライグマ”
この夏に生まれた3匹のアライグマの赤ちゃんは、元気に育っています。もう親と変わらないくらいになりました。この写真は、まだ小さいときのものです。

出しました。これは早く餌について葉を食べるので良いと思っていたら、あのような結果になりました。

林：こんどのはどうです？

泰松：こんどの子供は、8月24日に生まれた初産の仔の方がよいようで、母乳以外には興味を持っていないので、順調に育っています。



(キリン)

米田：それでは、しまうまについて。

丸本：長いこと生む生むと云っていましたが、大変遅れてしまいました。私が交尾を確認した地点からゆくと、昨年12月頃生まれることになっていたのですが、受胎していなかったのです。あとの交尾が分かりませんでした。



(シマウマ)

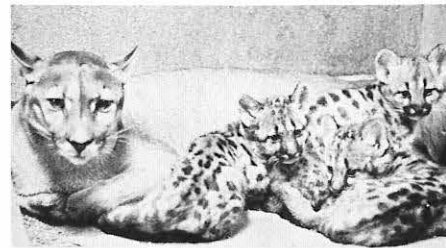
米田：しまうま舎の核家族対策について。

丸本：生まれて1ヶ月後、前の仔供を、おすが大変毛嫌いし始めました。結果、脱柵事件が起きました。又、ホーブラ（とからうま×しまうま）が交尾が初まると、それをねたんで困ります。現在、おす2頭、めす3頭です。寝室は十分なのですが、あと1頭位で、しまうま舎はいっぱいだと思います。

米田：これでしまうまを終ります。

これは生産ではありませんが、エミューも入園38年の祝を、先般やりました。何せ当園一番の長老動物、余命も長くもないと思いますので、十分大事にしてやって下さい。

次に、生まれたのはピューマですが、



(ピューマ)

池内：9月21日に生まれて以来、順調に育っています。仔育てのベテランですから、大丈夫です。

松岡：最後は黒ヒョウ2頭ですが、これも初産で、親が面倒を見ないので、11月3日から引き取って育てられました。おすの方が11月12日から、急に乳を飲まなくなって死亡しました。解剖の結果、臍帯から侵入した雑菌による腹膜炎と判ったので、残っためすの方も、乳量が落ちて来ていたので、早速その治療をしたところ、見違えるように元気になってました。ライオンでも経験したのですが、どうも引き取った仔供の中には、外からは分からないが、臍帯炎から腹膜に移行するものが、ままあるようです。そしてそれは、生後10日目迄に発病しますから、10日目迄は細心の注意が必要です。

松岡：この座談会の始まる時、園長が見えておられなかったの、この辺で園長から何かひとこと。

園長：今年はいろいろの動物が生まれたよい年でありました。私もうれしく思っています。中で残念に思うのは、1月15日に生れたオリックスと、この間生まれたくろひょうの仔供が死んだこと位です。

霞谷：園長!! 今さっき、オリックスが生まれました。報告します。

一同爆笑

園長：お産の準備もあるので、来年確実なものについて知らせて下さい。

鈴木：トラとエチオピアライオン。

村田：ラクダ。

丸本：しまうま。

三浦：バク。

園長：南園の方はどうですか？

林：早子君、くまはどうです。

早子：……………。

園長：きりんの交尾は？

泰松：出産2ヶ月頃から見られるのですが、今年は少しおそく、未だにその徴候が見られません。

②飼料よもやま話

松岡：それでは、ベビーブームの話はこれくらいにして、次は、飼料のよもやま話という題で、樽本技術吏員を中心に、話を進めていきたいと思います。

樽本：昨年草をやめて、全面的に牧草にしました。今年は、更にこれを品質のよい輸入牧草に変えました。非常に好成績のようです。ベビーブームのかげの要因となったことは、たしかだと思えます。また、細かった象が肥えてきたとのことです。

楠本：確かに肥えました。鹿も毛づやがぐっとよくなりました。この牧草になってからは、残して捨てるようなところがありません。

樽本：栄養価も非常に高く、もちろん、今後も続けていくつもりですが、価格も高いので、何とかたくさん飼料予算をもらわなければなりません。次に、肉の方も鯨肉一辺倒から、兔肉をとり入れてもう1年半以上になります。その間、トラやライオン、ピューマなどどんどん生まれました。最初は、骨がやや硬いので、糞が硬くなったり、胃にきずがつくのではと心配でしたが、もう安定しました。

正木：鯨より先に、兔肉にとびつくようです。今、兔肉と鯨肉を半々にやっています。

樽本：鯨の先行を見越してのことでしたが、これからはますます鯨肉が少なくなり、高くなるでしょう。そうすれば鯨の分は、輸入馬肉のようなものにしたらざるをえません。兔肉は、集荷がむずかしく、今の1日30kgが限度ですから。今のところ、飼料予算の執行は順調ですが、今年のベビーブームの余波で、来年あたりはかなり飼料代があると思われれます。かば、きりん、さいの赤ちゃんが大きくなってきています。東京や名古屋の動物園では、飼料予算案を動物園が出しても、けずられたことがないと聞いています。大阪でも、当然そうあるべきだと思いますよ。

松岡：皆さんから飼料に対する要望はありますか？

樽本：飼料を改善していくことが、飼育のコツの1つであると思いますので、良いと思われることはどんどん取り入れていきますので、よろしく御協力下さい。サルベレット、フラミンゴフード、ソーセージタイプドッグフードも当園では、テスト段階です。全面的に使用している園もたくさんあるのですが……。

今年は、沿岸のあらゆる汚染などで魚獲が減り、魚が大変高くなりました。動物園では、アジが大量に必要なのです。アジは、あしか、ペンギンの主食になっているほか、シロクマやアライグマなどの小獣類、猛禽類やつる、こうのとりや仲間まで広く食べています。この大切なアジが、近年のヘドロ、PCB、重油などの汚染で、とれなくなりつつあるようです。これは、動物園にとって大変打撃です。魚を食べる動物は、他の餌でまにあ

せが困難だからです。

松岡：外に、飼料のことについて、どなたかこうしてもらいたいと云う御希望はありますか、飼料は毎日のことで重要な仕事ですが、予算と云う足枷があるので、担当者も御苦労が多いことと思えますが、一つ頑張ってください。

時間も少なくなって来ましたので、次に移らせてもらいます。

③診療苦労ものがたり

松岡：今年当初、馬の流行性感冒が爆発しました。V₂型のウイルスと云うことでしたが、人間のものとは全く異ったもので、人のワクチンは全く効果が無いと云うことでした。私共が飼育しているのは、しまうま、とからうま、きそうまですが、これらの予防対策をどうしようかと云うことでしたが、「しまうま」は現在、当園に居るホーブラがどうも繁殖力が少ないところから、ロバに近いものとの考えで、きそうま、とからうまの予防だけにしました。

昨年、せっかく皆さん方が生産して下さったクジャクに対して、コクシジウムばかりを注意して、黒頭病で大変な損失を受けましたので、今年はこのことに十分注意を払って、早目に黒頭病の予防を行なったので、殆んど損耗を受けずに済みました。又、野生動物の骨折は、仲々治療がむずかしかったのですが、偶然に起きたきよん、えぞしか、にほんしかの完全骨折に対して、それぞれピンギングを実施したところ、全頭回復と云う好成績を修めることが出来ました。私共としては、このようなことの、損耗を極力なくするように、努力して行きたいと思っています。先程も、園長からお話の出たオリックスの場合でも、人工蘇生器さえあれば、何とか出来たのにも思いましたので。来年度には蘇生器を備えて、このようなときの損耗をなくしようと只今要求中です。

いろいろ動物の中には、出産時のショックなどで、母親が面倒を見ないものが出て来ます。人工哺乳の場合、母親が育成するより、一時的に成長のリズムが遅れます。先程も、ラクダのときにお話が出ていましたような状態となって現われますので、強く育てる為の補助的な面にも、皆様方のアドバイスが出来るように、努力したいと思っています。最近、オーム、インコの輸入が多く、オーム病が警戒されているようですが、本園のように永く飼育されているものはまずまず安心ですが、輸入直後のものに対しては十分注意が必要です。

松岡：それでは時間も大分少なくなって来ましたので、最後にパンダについては昨年来、新聞紙上の話題ともなっていましたので、この点、直接ご苦労された園長からお話を聞きたいと思

④バンダあれこれ

園長：バンダのことについては、バンダが日本に来る1週間程前に、その状況についてお話しをしたと思います。何れにしても、私は動物園は「生きた図鑑」であると思っていますので、広く珍獣を展示すると云うことについても、努力を払いたいと思っています。昨年、市長から佐伯経済訪中団長を通して、郭松若氏にお願いしたところ、何とか努力をしましょうと云うことでしたので、私共としては国交回復の暁には、もらえるものと思っています。ところが、経済ルートでの交渉が、政治ルートに変わったので、或は東京に持って行かれるのではないかと云う懸念はありました。しかし、この間バンダを入れることについては、故中馬市長、大島市長、公園部長、この方々や佐伯団長も、大阪を堅持しておられました。大島市長も、政府三役に直接会われておられるのです。公園部長も、三役に市長書翰を渡して依頼しておられ、三役も認識を新たにされたように聞いています。しかし、過去の例から残念ながら、政府ルートに乗ったときは、その国の首都の動物園が預かると云う不分律のようなものがあるようで、残念ながら東京に行きましたが、2年後に開かれる大阪の中国博に、



(バンダ)

再びバンダがやって来たときには、是が非でも当園にと思っています。

松岡：大変希望の持てる話になって来ましたね。
園長：何れにしても、今となってはバンダが健康に育って、一日も早く子供が生まれることを祈っています。
松岡：では、この辺で最後のしめくりとして、来年に向けての抱負を園長から。
中川：天王寺動物園は、施設といい、飼育技術といい、ほんとに昔に比べると立派になりました。しかし、世の中は毎日、進歩していきます。動物園も一日として、安閑としていては駄目です。常に時代の先端に行く気持ちが大切です。この意味で毎日が勉強であり、努力でなければならないと思います。さて、来年の抱負ですが、先ず「収容動物の質的向上」があります。これには、国際交流を深め、外国の動物園との動物の交換や、資料の交換などを積極的に進めたい。
又、「園内緑化を推進」し、家族ぐるみ、或いは幼稚園児や、小学校の生徒が楽しく皆揃って休んだり、お弁当を食べることの出来る、「お弁当広場」のようなものを作りたい。
又、暑い夏でも涼しい木蔭で、動物たちを見られるように、「緑蔭歩道」や、「サクラの園」「ツツジの庭」というように、四季折々の花が園内の何処かで見られるというようにしたいと思っています。つまり、「木と花と動物がパイ」の、「美しい動物園」を目標にいきたいと思っています。なお、形や体裁ばかりでなく、中で働く人々の心も美しくありたいものだと思います。

11月17日 飼育詰所で
(筆責 松岡)

11月の動物園日記

1. ブラックバックのおすが、仲間のおすが角でつかれて、重傷を受けました。すぐ手当をしましたが、12時間後に死亡しました。数日前から、ブラックバックの一群のボスの座を退かれていたおすがで、惜しいことをしました。
2. チンパンジー、オランウータン舎の改修工事が終わりました。クロツル2羽が動物交換で入園しました。クロヒョウの赤ちゃん2頭が生まれました。
3. 前日生まれたクロヒョウは、母親が授乳しないので、人工哺育することになりました。おすは500g、めすは460gの体重がありました。乳をよく飲んでいきます。
4. 放棄舎にイタチが出没して、キジ類がひんびんとして襲われますので、イタチとり作戦を実施しています。
7. カバの赤ちゃんと母親を、はじめ屋外運動場に出しました。
8. チンパンジー舎に、この日から暖房を入れはじめました。
9. シマウマの子どもは、寒さが原因で少し元気がありませんので、薬を飲ませたりしました。
10. 小型清掃車と、モートルラックの寄贈がありました。
11. ビューマの若めすが、嘔吐が続いているので、糞便検査などを

- して、原因を調べています。
12. ボンネットザル、おす1頭の寄付がありました。
14. クロヒョウの赤ちゃんのおすの方は、最初順調に成育していましたが、2〜3日前から排尿しなくなり、乳もほとんど飲まなくなりました。ついに、今日の7時頃には死亡してしまいました。解剖してみると、膀胱炎で、腹膜のほうにも及んでいました。
16. クロヒョウの餓った方の赤ちゃんは、まざまざの成長で、この日、新聞関係に発表されました。
17. オリックスの赤ちゃんが生まれました。飼育係の座談会を行いました。
18. オリックスの性別はおすがで、哺乳も確認しました。
19. 水禽放棄舎を飼まっていたイタチを、ついに捕獲しました。
21. フタコブラクダの仔が、動物交換として出園しました。
22. チンパンジーのキャンデーを、寄付した北千代さんから、演技道具などの寄付がありました。
22. クロエリハクチョウが産卵しました。アシカが急性肺炎のため死にました。ハナシカのおすが、オリックスにつかれて死にました。
23. クロザルの赤ちゃんが生まれました。
24. オオミズナギドリ12羽を、全日空の好意で、沖縄のこどものくにに空輸して、南の暖かい海で放してもらうようにしました。

動物園ニュース

☆オリックスの赤ちゃん



☆動物舎の改築あれこれ

●万国博のとき、インド政府からもらったインドゾウのヒロ子は、その後、順調な発育をしています。これまでは仮小屋ずまいで、皆さんにも充分見ていただけなかったのですが、このほど南園ぞう舎に、寝室を増築する工事にかかっています。工費は約510万円で、来年2月頃には完成の予定です。この工事が完成すれば、運動場で、春子、ゆり子とちび象のひろ子の3頭が、仲よく遊ぶ姿

明日のくらしのコンサルタント



アベノ店



上本町店

3月14日 奈良近鉄百貨店オープン！
近鉄西大寺駅前に登場した日本で初の本格的なショッピングセンターの中で新しい感覚のファミリーデパートとして多彩な催しをくりひろげます



奈良店

つねに新しいくらしのイメージをお届けする
近鉄百貨店 品揃えは勿論のことゆきとどいたサービスで 皆さまをお迎えいたします
身近かなコンサルタントとしてぜひご利用ください



TEL. アベノ(06)621-1231 / 上本町(06)779-1231 / 奈良(0742)33-1111

「キーウイ」のエサに、ミミズをください!!
万国博のとき、ニュージーランドからおくられた「キーウイ」のエサになるミミズを動物園では、園内で養殖していますが、今年は繁殖が少なく困っています。どうか、ミミズを寄贈(ききぞう)して下さるか、ミミズのたくさんいるところを、下記のところまで教えて下さい。
(大阪市天王寺動物園 TEL 771-8401~2)

声が、内外からよせられ、編集部もなんとかこの要望にこたえたいと努力してまいりました。その結果、来年度から2頁の増頁をすることになりました。今後とも、「なきごえ」紙をもちたてていただくよう、皆様の御支援をおねがいいたします。

④パンダあれこれ

園長：パンダのことに
ついては、パンダ
が日本に来
る1週間程
前に、その
状態につ
いてお話し
をしたと思



再びパンダがやって来たときには、是が非でも当園にと思っています。

松岡：大変希望の持てる話になって来ましたね。

園長：何れにしても、今となってはパンダが健康に育って、一日も早く子供が生まれることを祈っています。

松岡：では、この辺で最後のしめくりとして、来年に向けての抱負を園長から。

中川：天王寺動物園は、施設といい、飼育技術といい、

☆オリックスの赤ちゃん



11月17日、オリックスの赤ちゃんが生まれました。もう寒い季節ですし、今年の1月15日にも生まれていますが、親が乳を飲ませなかったりして、死なせているので、最初は大変心配しました。幸い今回はうまく哺乳していますので、順調に育っています。おすの赤ちゃんですから、これでオリックスの一家は、おすす2頭づつ4頭になりました。こんどの出産の前に、おすのオリックスは大変興奮して、他の鹿をおい廻したりして荒れていました。

☆かばときりんの赤ちゃんの愛称がきまりました。

秋の動物園まつりの一環行事として、かばときりんの赤ちゃんの愛称を、入園の子供たちから募集していましたが、16,000票以上の応募がありました。

審査の結果、次のように決定しました。

- かば……サリーちゃん
- きりん……きり子ちゃん・りん子ちゃん

11月12日に愛称の発表会をかねて、当選者の子供たちに賞品をおわたしました。

動物好きのみなさんへお願い

「キーウイ」のエサに、ミミズをください!!
万国博のとき、ニュージーランドからおくれた「キーウイ」のエサになるミミズを動物園では、園内で養殖していますが、今年は繁殖が少なく困っています。どうか、ミミズを寄贈(ききぞう)して下さるか、ミミズのたくさんいるところを、下記のところまで教えて下さい。
(大阪市天王寺動物園 TEL 771-8401~2)

☆動物舎の改築あれこれ

●万国博のとき、インド政府からもらったインドゾウのヒロ子は、その後、順調な発育をしています。これまでは仮小屋ずまいで、皆さんにも充分見ていただけなかったのですが、このほど南園ぞう舎に、寝室を増築する工事にかかっています。工費は約510万円で、来年2月頃には完成の予定です。この工事が完成すれば、運動場で、春子、ゆり子とちび象のひろ子の3頭が、仲よく遊ぶ姿が見られることでしょう。

●猛獣放飼場の改修工事に、このほどかかりました。猛獣舎は、昭和39年に完成したのですが、最近、後部の擁壁のモルタルが、相当いたんできていますので、本格的な補修にかかることになりました。今回は新しい建材を使用して、気分を一新させようという試みです。冬中いっぱい工事にかかり、来年春の4月には完成の予定です。そのころには、今生まれているライオンの赤ちゃんも、またトラも出産が見込まれていますので、新装なった放飼場で、かわいい親子の姿が見られるでしょう。

☆新年の催しもの(お知らせ)

例年どおり新年には、「えとのおもちゃ展」を開きます。来年は「うし」年で、世界20カ国、170点のおもちゃが展示されます。出品者は、吉田平七郎氏です。期間は1月1日から15日まで。場所は冷房ペンギン室です。

☆編集後記

私共の動物園の近況を、皆様に紹介するために、昭和40年4月1日に創刊した「なきごえ」は今年の12月号で89号になりました。かねがね増頁をして、更に内容充実をという声が、内外からよせられ、編集部もなんとかこの要望にこたえたいと努力してまいりました。その結果、来年度から2頁の増頁をすることになりました。今後とも、「なきごえ」紙をもちたてていただくよう、皆様の御支援をおねがいいたします。

子どものための 動物のふしぎな世界

●全4巻 春・夏・秋・冬

- 園児から小学校低学年向きです。
- オールカラー160頁・B5判・上製本
- 各巻定価1,300円/セット価5,200円

子どもに動物に対する深い興味と、親しみを与える本書は、春・夏・秋・冬の季節別に活動する動物の生態の不思議さや、人と動物との心あたたまるふれ合いなどのエピソードを集めたものです。きっと子どもと動物たちの間にすばらしい世界がはじまるでしょう。

●お近くの書店・百貨店でお求めください。 **ひかりのくに**



3. 前日生まれたクロビョウは、母親が授乳しないので、人工哺育することにしました。おすは500g、めすは460gの体重がありました。乳をよく飲んでいました。
4. 放糞舎にイタチが出没して、キジ類がひんびんとして騒ぐので、イタチとり作戦を実施しています。
7. カバの赤ちゃんと母親を、はじめ屋外運動場に出しました。
8. チンパンジー舎に、この日から暖房を入れはじめました。
9. シマウマの子どもは、寒さが原因で少し元気ありませんので、薬を飲ませたりしました。
10. 小型清掃車と、モートルックの寄贈式がありました。
11. ビューマの若めすが、嘔吐が続いていますので、糞便検査などを

18. オリックスの性別はおすで、哺乳も確認しました。
19. 水禽放糞舎を悩ませていたイタチを、ついに捕獲しました。
21. フタコブラクダの仔が、動物交換として出園しました。
22. チンパンジーのキャンデーを、寄付した北千代さんから、演技道具などの寄付がありました。
22. クロエリハクチョウが産卵しました。
- アシカが急性肺炎のため死にました。
- ハナシカのおすが、オリックスにつかれて死にました。
23. クロザルの赤ちゃんが生まれました。
24. オオミズナギドリ12羽を、全日空の好意で、沖縄のこどものくにに空輸して、南の暖かい海で放してもらおうようにしました。

なきごえ 昭和47年12月15日発行(毎月1回15日発行) 第8巻第12号(通巻89号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂

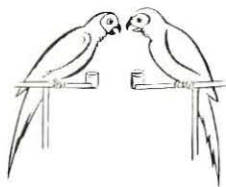
定価100円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

振替口座 大阪 37823

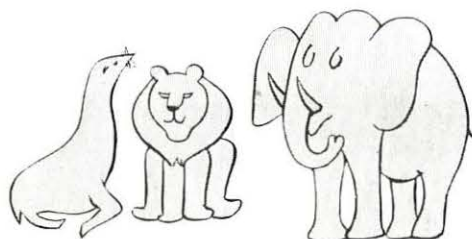
1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話 (078)22-8195・22-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

パイン・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円

編集委員

〈入口富夫・林邦彦・大野尊信・加幡一男・米田敏光・樽本勲・田上勝・中川道朗・農本武志・松岡恵爾・深井和美・東政宏〉